

市長記者会見記録

日時：2019年5月22日（水）14時00分～14時20分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：南武線津田山駅北口一部及び中野島駅臨時改札口の使用開始日が決まりました
(まちづくり局)

<内容>

《南武線津田山駅北口一部及び中野島駅臨時改札口の使用開始日が決まりました》

【司会】 お待たせしました。ただいまより、市長記者会見を始めます。本日は、話題提供といたしまして、「南武線津田山駅北口一部及び中野島駅臨時改札口の使用開始日が決まりました」となっております。それでは、市長から御説明をいたします。よろしくお願いたします。

【市長】 南武線津田山駅北口一部及び中野島駅臨時改札口の使用開始日が決定いたしましたのでお知らせいたします。

配付資料をご覧ください。本市では、駅アクセス向上に向けてJR東日本と施行協定等を締結し、両駅の整備を進めてまいりました。この度、津田山駅について、北口の一部を6月8日土曜日の初電から使用開始する運びとなりました。概要として、図に示しております自由通路の一部と橋上駅舎の範囲にて使用開始で、改札設備に加え、エレベーター、多機能トイレなどのバリアフリー化を図ることにより、安全で利用しやすい施設となります。なお、南口を含む全体の使用開始は令和2年春頃を予定し、完成後は踏切を横断する駅利用者、地域の皆様の安全性の確保、利便性の一層の向上が図られるものでございます。

また、中野島駅については、通勤・通学による朝夕ピーク時の踏切の安全対策が課題となっております。このため、橋上駅舎化までの暫定的な対応として、臨時改札口の整備を進め、この度、6月7日金曜日の午前7時から、上り線ホーム側にて臨時改札口を使用開始し、朝夕の通勤・通学のピークでの運用を図っていくものでございます。

この臨時改札口の完成により、地域の長年の課題であった安全対策等の改善が図られるものでございます。引き続き駅アクセスの一層の向上に向けて取組を進めてまいります。以上でございます。

【司会】 それでは、ただいまご説明いたしました件並びに市政一般に関する質問に

入らせていただきます。進行につきましては、幹事社様よろしくお願ひいたします。

【幹事社】 よろしくお願ひいたします。市政一般も合わせてよろしいですか。

【司会】 合わせてお願ひします。

《昨日（5月21日）の大雨関連について》

【幹事社】 昨日、大雨がございましたけれども、市内でも転倒した女性の方がいらつしゃったということをお伺ひしております。その後、何か新たな被害など、これまでにわかっていることがございましたらお伝ひいただけますでしょうか。

【市長】 特にそれ以外の大きな何か事象については聞いておりません。

《大津市の園児死傷事故関連について①》

【幹事社】 あと、話題はちょっと変わるんですが、大津の交通事故で、園児が2人亡くなるという事故がございました。県が県内のポールやガードレールなどの調査を始めるというふうな動きがあるようなんですけれども、市では何か御予定などございますでしょうか。

【市長】 それはどこが始めるという話ですか。ごめんなさい。

【幹事社】 県のほうで始めるということになったと。

【市長】 そうですか。申しわけありません。ちょっと私も聞き及んでおりませんが、これを受けて特に（何か行う）ということをお考へているわけではございませんけれども、さすがに市民の皆さんの関心も非常に高いのか、市長への手紙などでも、ここの歩道が危ない、ガードレールがないというものが、ものすごい数がきております。そういう意味では、非常に皆さん関心が高いところだと思っておりますが、私どもも安全性等を考へてこれまでも整備を進めてきておりますので、引き続き安全性の確保については取り組んでいきたいと思っております。

【幹事社】 それじゃ、これを受けての調査というのは今のところお考へではない。

【市長】 そうですね。

《神奈川県知事の発言について》

【幹事社】 了解しました。あと、黒岩知事が菅官房長官について、愛称というか、「令和おじさん」と発言したという問題がございました。これについて自民党県連が抗議をする方針を示しております。この発言そのものと、あと、知事も県連側に謝罪する意向と言っていたんですけれども、一連の対応などについて御所感をお伺ひした

いと思います。

【市長】 特にコメントはございません。

【幹事社】 了解しました。幹事社からは以上です。各社さん、お願いいたします。

《大津市の園児死傷事故関連について②》

【記者】 今、幹事社さんから質問あった市長への手紙なんですけれども、どの位。要は川崎市内の、私も川崎市民で、歩いていると道が狭くて、やり出すと切りがないような歴史的な街なんだと思うんですが、市長への手紙はまず何件ぐらいきて、概数で構いません。

【市長】 何件かというのは（把握）していませんけれども、2週続けて、市長への手紙でも結構な数がきていると印象として思っています。日頃もあるんですけれども、特にこの2週間はすごく多いなど。皆さん、大体事件のことを触れておられますから、日頃から気になっているところをやっぱり言うておいたほうがいいんじゃないかという意識になられているんだと思います。

【記者】 調査は以前からずっとやっていらっしゃると先ほどおっしゃいました。今回の事案を受けて何か取組を加速させるとか、今後、来年度以降なんでしょうけれども、予算を何かちょっと傾斜をかけるとか、そういうふうな方針はございますか。

【市長】 この事件を受けてどうのこうのという話ではなくて、例えば、通学路の安全対策というのは、従前から各小学校区でも交通安全対策協議会だと思のですが、地域の皆さんとどこが危ないのかということは、恒常的にそういう機関でもって情報をいただいて、できるところから取組をやっていますので、今までやっていなかったことをこれからやるということではなくて、従前の仕組みをしっかりと使って、できるところはしっかりやっていきたいと思っています。

【記者】 わかりました。ありがとうございます。

【記者】 すいません。市内の保育施設の中にも、やはり園庭がなかなか確保するのが難しかったりする施設もあると思います。そういう意味で、例えば散歩の道中の危険なところを通ってないだろうとか、そういうところの確認というか、改めて各施設に注意を呼びかけたり、そういうのは。

【市長】 そうですね。それはしてまいりたいと思います。今、担当部署がもう既に動いているのかもしれませんが、確認というのは是非この際、改めてしていただきたいという呼びかけはさせていただきたいと思います。

《英国事前キャンプ関連広報事業について》

【記者】 わかりました。すいません。またちょっと話が変わって、前々回の、もっと前の会見で御質問した機関車トーマスの件なんですけど、その後、情報開示請求をしたところ、金額はお答えいただいたという対応だったんですけども、金額を非公表でこの契約を結ぶのはいかがなものなんだろうかとというのがそもそもの問題意識としてありました。開示請求に答えていただく形で、今回、金額は出てきたんですけども、改めてこういう、特に随意契約で、しかも緊急性がそれほど高いというふうには私個人的には感じないんですが、こういう契約について、金額を非公表で外部に対してこういう契約を結んだということに対してどういうふうにとめておられるのか。まだこの段階でも妥当だったとお考えなのかどうか。

【市長】 基本的には、2回前の記者会見の時に申し上げているように、いわゆる民間の相場に影響を与えるようなものについて非開示というのは、こういうキャラクター使用とかに限らず、家賃ですとか、そういったものは基本的に非公開にしているということもあります。そういったものに照らして妥当性というのをこれからも判断していきたいと思いますが、当初、相手側と話してきた時には、それに当然当たるということですし、あちらからも、そういうことはキャラクターの価値というものを毀損する恐れがあるという話をいただいていたと理解していますので、妥当であったと思いますが、記者会見のここでのやり取りを受けて、むしろそのやり取りで、ものすごく隠しているということのほうがキャラクターに対するダメージが多いと事業者側として判断されたという形で私どもと協議をしてきたということですので、基本線は変わっておりませんし、これからもこういうケースというものはあるんだと思います。ただ、できる限りオープンにしていくというのが基本だということは、これはベースとしてそうだと思います。

【記者】 ただ、要するに業者のほうで希望するか、しないかによって金額が公表、非公表となるので、対応が変わるということになると結局、自治体として、これは表に出すべき情報であるのか、それとも、これは出さないべき情報であるのかという判断で。

【市長】 恐らく、例えばこういうキャラクターのものと、別ケースというのはケース・バイ・ケースで考えていかなくちゃいけないだと思います。ですから、申し上げたとおり、なるべく情報は出していくというのがまずベースにある。そこであくまでも申し上げているような不利益を生じるようなことがあればやっていくということ

ですから、非常にケース・バイ・ケースじゃないかなと思いますけども、一定のルールはあることはあるので、何もないという中でやっているわけではありませんので、今後もルールの範囲内でしっかりやっていきたいとは思っています。

【記者】 要するに、ただ営業活動を毀損するという判断を誰がするのか。それがすると思われるのであれば、開示請求を受けても出すべきではなかったのではないかと。それを結局、先方の事業者様のほうがこれを伏せておくことによるデメリットのほうが大きそうだということで判断を変えるのであれば、公表、非公表の判断を先方に委ねていることになりはしないかと思うんですが。

【市長】 まず、そもそもこれがキャラクターの価値を毀損する可能性があるということは、私どもとしては理解するところです。そういう中であって、こういうやりとりの中で、事業者としてもこれでイメージを傷つけられるほうが損害が多いというのも、私は理解します。ですから、そういう意味では、当初の判断と最終的などころで覆っているというのは、これらのやり取りの中で出てきた結果だと。言葉は違うのかもしれませんが、前向きに捉えていると思っています。

【記者】 すいません。最後に1点だけ。一方で横浜市さんのほうは、ひつじのショーを大使にしている。それについて使用料はどうも発生していないというような契約で、今の段階では発生していないということを伺いました。なぜ川崎市は有料で、横浜市さんは今のところ、費用が発生していないのか。こここのところも普通に、お隣の街のやっていることでは疑問に思うことなんですが、これは何の差だと思われませんか。

【市長】 いや、こればかりは一概に言えないのではないかと思います。このキャラクターだったら幾らだとか、あるいはどういうものを対象と、使用を許可するのかということによってかなり差が出てくるのは当然なので、その値段が高いか低いかというものは、例えば好みのキャラクターであれば安いと思うのかもしれない方もいらっしゃるでしょうし。ただ、金額として何か開示になったとしても、これが不当に高いものだとか、あるいは不当に安いものだとかという感覚はないとは思っています。

【記者】 であるからこそ、やはり金額を公表するということは大切なことだと私は思うんですけども、それで、こういう同様のケースというのは今後も起き得ると。

【市長】 起き得るとは思います。

【記者】 わかりました。

【記者】 すいません。その件で、私、全体像は勉強してないんですけども、先ほど家賃の話とかも出されて、市場の価格に影響を与えるので、そういうことはあり得る

だろうというのは、そうなのかなと思って聞くんですが、家賃とかの絡みというのは商習慣に絡んだ話で、今回のようなキャラクターと個別に契約を結ぶというのは別の時限の話なんじゃないかと私は考えます。

でも、またという私の個人的な意見を申し上げつつ、三百何十万ですか、今回の契約金。当該部局は、契約金が格安で破格でもあったんで、先方のことを考えて非公開とするとおっしゃっていたんですけれども、三百何十万の契約額というのはどのように、市長は思っていますか。

【市長】 これからの使い方にもよりますけども、かなり広範囲に使用できると理解しています。そういう意味では、これも個人的な感覚と市場の感覚というのといろいろあるでしょうから、私が安いとか高いとかというのはちょっとコメントは控えたいと思いますが、それにしても、適正なんではないかなと思います。

【記者】 前々回と今回の会見の時に、私、もしくは私どもの質問で、非常に悪いイメージをソニーさんに与えるような質問を差し上げたことに対しては、私ももちろん反省しておるところでございます。今後も、同様のチャンスがあればそういう予算を組むとおっしゃいましたけれども、我々としては、行政の予算に絡む事案に関しては、必ず予算額は聞きます。これからも同種の事案が起きるのであれば、同様のトラブルが起き続けるということ、これは是非、市長に今後もお含みおきいただいて予算を執行していただきたい。よろしくお願いします。

【市長】 わかりました。そうだと思います。結果的には誰も望まない形になったということだと思いますので、今回のケースというのをしっかり勉強させていただきたいと思いますし、全員がなるほどと納得いく形で発表するというのに努めていきたいと思います。ありがとうございます。

《幼保無償化関連》

【記者】 10月から幼保無償化が始まりますけれども、無償化の対象にならない世帯に対して、幾つかの自治体が独自の支援策を考えているようなんですけど、川崎市としては現時点で、そういった支援策というのは打ち出す方針というのはありますでしょうか。

【市長】 すいません。現時点で私が聞いている範囲では、特に考えているということとはございません。

《技能実習生による保護責任者遺棄事件の判決について》

【記者】 すいません。今日、訓練実習生の中国籍の女性が子どもを遺棄した件で判決が出たんですけれども、川崎市さんは積極的に外国人の労働者の方も受け入れていらっしゃると思うんですが、そういった環境でこういった事案が起きたこと、あとは、市として今後何か取組とか、対策、あと働きかけをされるのであれば教えていただきたいなと思います。

【市長】 ちょっと判決の結果をまだ聞いていないものですから。

【記者】 執行猶予が4年付きの懲役1年6カ月の判決が出ました。

【市長】 なるほど。まず、こういったケースというのが技能実習生だけでなく、そういう形で来ている方でない外国人の方もそうですし、日本人もそうなんですけれども、妊娠がわかってからの早めの相談という体制を、やはりしっかり確立していかななくてはいけないと思っていますし、これだけ多国籍な形になってきますと、言語の対応だとかを、今後、整備というのに力を入れていきますけども、そういったものにつなげていかななくてはいけないと思っています。

【記者】 ありがとうございます。

【幹事社】 他はいかがでしょうか。よろしいですか。以上で、ありがとうございました。

【市長】 はい。よろしく。

【司会】 どうもありがとうございました。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理したうえで掲載しています。

(お問い合わせ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)2355

— 了 —